



とどけ！わたしのメッセージ

11月26日 子ども・若者育成支援大会を開催

内閣府が定める「子ども・若者育成支援強化月間」に合わせて、市では、「伊豆の国市子ども・若者育成支援大会」を開催しました。

市内の小・中学生によるわたしの主張発表では、代表者たちの力強い発表に大きな歓声が沸きました。そのほか、青少年健全育成成功者表彰、シャギリやチアリーディング披露などが催されました。

◀ペットとの生活を通して動物愛護を呼び掛けた発表

地元の新鮮な農産物に親しむ

11月27日 伊豆の国農業まつりを開催

地元の新鮮な農産物に親しみ、味わってもらうため「伊豆の国農業まつり」を農の駅 JA グリーンプラザ伊豆の国で開催しました。

会場には地元産の新鮮野菜や加工品の販売、動物のふれあいコーナーが設けられ、毎年多くの来場者でにぎわいます。ステージでは農産物品評会の表彰式や餅まきなどが行われ、来場者を楽しませました。

品評会に出品された野菜や果物を販売▶



体験をして、学べる地域交流授業

12月2日 大仁中学校で「ふれあいタイム」を実施

大仁中学校では、近隣地域の人たちとの交流を通して自分の特性や新たな気付きを見つけることを目的に「ふれあいタイム」を実施しています。

この日は、45人の講師を招きダンスやパン作り、和太鼓やギター演奏など17講座を実施。これらの体験から自身の能力や適性、生き方を学べる有意義な活動に、生徒たちは真剣に取り組んでいました。

◀初めての体験に、緊張しながらも楽しく活動（お抹茶体験）

サイクリストに優しいまちを目指す

12月5日 木製自転車スタンドの寄贈

伊豆地域の木材で作製した自転車スタンドが市へ寄贈され、その寄贈式をあやめ会館で行いました。

このスタンドは、伊豆流域林業活性化センターによる自主事業で、地域おこし協力隊が考案し作製しています。寄贈された3台のスタンドは、2020年の東京五輪・パラリンピック開催に伴うサイクル事業推進に向け、有効に活用していきます。

下田市地域おこし協力隊の協力で作られた自転車スタンド▶



当日のエントリー選手（敬称略）



郷土の誇りを胸に力走

12月3日 しずおか市町対抗駅伝が開催

17回目の開催となる「しずおか市町対抗駅伝」が静岡市内で行われました。各市町の代表選手が11区間、42.195kmのコースを力走。その姿に、沿道からは大きな声援が送られていました。

伊豆の国市は市の部25位。昨年と同じ順位でしたが、選手たちは郷土の誇りを胸に、最後までタスキをつなぎました。



▲大会を終えた選手たち



小学生 1,500m 走
男子 神田治輝（左）
女子 神谷唯菜（右）



みんな仲良く、命を大切に

11月10日 長岡幼稚園で人権教室が開催

伊豆の国市人権擁護委員による人権教室が、長岡幼稚園の年長児を対象に実施されました。手話を交えた歌や、紙芝居の読み聞かせ、ロールプレイなどを通して、みんなで仲良くすることや命の大切さについて学びました。

1月23日（月）には、田京幼稚園でも人権教室を開催します。

◀手話を交えて歌う園児たち

温かい灯が照らす幻想的な夜

11月19・20日 葦山竹灯籠まつりを開催

来場者を幻想的な世界へいざなう「葦山竹灯籠まつり」を、国の重要文化財江川邸で開催しました。

8回目の開催となる今回も、正門や竹林のほか、普段は公開されていない中庭などに約3,800本の竹灯籠を設置。訪れた多くの来場者は、竹灯籠が照らす様子を観覧したり、撮影したりして楽しんでいました。

さまざまな形であたりを照らす竹灯籠▶

